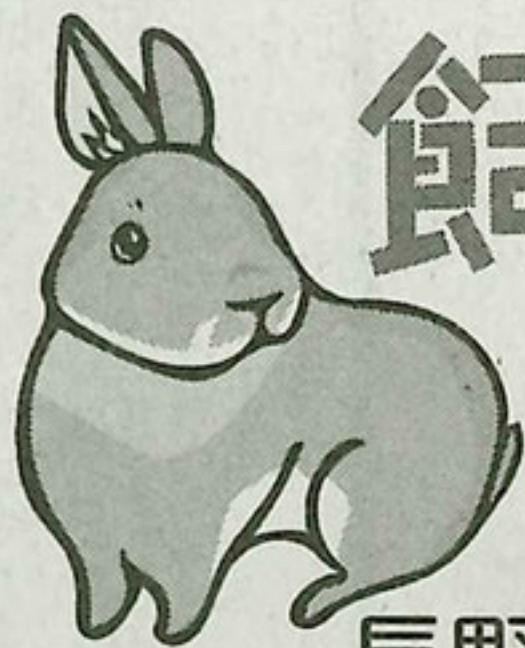


ニホンイヌワシ

須坂市動物園では、2羽のニホンイヌワシを飼育しています。体が小さい方が雄の風輝ふうき、大きい方が雌の小檜こなら—写真—です。

ニホンイヌワシは日本に生息するイヌワシで、絶滅危惧種に指定されており、他の動物園とも協力して繁殖を行っています。

飼育員 日誌



長野・須坂市動物園

11月になると、ニホンイヌワシたちが繁殖の準備を始めます。獣舎の中に杉の枝や葉を置いておくと、くちばしや脚を器用に使い、自分たちで高い所にある小屋へ運び、床に敷き

繁殖準備頑張っています！

詰めて巣を作ります。卵はその中央へ産み、主に雌が温め、餌は雄が巣まで運んできてやります。

現在は巣作りをしている真っ最中で、一生懸命に巣材を運んでいる姿が見られるかもしれません。

前回卵を産んだのは今年の2月頃でしたが、その卵は残念ながらかかりませんでした。今度こそは、2羽の頑張りが報われて、ひなが立派に育ってくれることを祈っています。

(ニホンイヌワシ担当)

笹島優里華)

